

**環境省 JCM制度 設備補助事業の採択が決定  
～タイ国のCO2 年間2,351トンの削減に貢献～**

2017年3月24日に、ユアサ商事株式会社（本社 東京都千代田区神田美土代町7番地 社長 田村博之）の『タイ 空調制御システム導入による精密部品工場の省エネ』に関する取り組みが、環境省の二国間クレジット制度（The Joint Crediting Mechanism（以下、JCM））を利用した設備補助事業に採択されました。

JCMの設備補助事業とは、途上国において優れた低炭素技術を導入し、途上国の温室効果ガスの排出削減を行う事業者に対して、環境省がその設備投資費用の1/2を上限に補助を行う資金支援事業です。これにより、事業者は途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、途上国で削減した排出量を、日本の排出削減量として計上することで、日本の温室効果ガス排出削減にも貢献できる仕組みです。

本事業は、パナソニック株式会社（生産技術本部）のコンソーシアム形成支援、株式会社日本総合研究所のMRV方法論（※1）策定支援のもと、当社が代表事業者として、タイ国の精密部品企業3社（日本電産コパル・タイランド株式会社、タイ日本電産精密株式会社、パナソニックASアジアパシフィック株式会社）と国際コンソーシアムを形成して取り組む共同事業です。

当社が、コンソーシアム3社の工場内空調設備に省エネ制御機器（「Eco Power Fit（※2）」）を550台導入する省エネソリューション提案を行い、タイ国での環境エネルギー事業に強みをもつYUASA ENGINEERING SOLUTION(THAILAND)CO.,LTD.が、2018年3月末の事業完了を目標に、機器の導入を行います。

タイ国の気候柄、年間を通じて空調設備が稼働をしておりますが、日本のような高い省エネ性能を備えた空調設備の普及は進んでおりません。「工場の省エネ」は、日本電産グループ及びパナソニックグループが継続して取り組んでいる重要課題であり、今回の導入により、タイ国の3工場内空調設備のCO2排出量はおよそ20%削減できる見込みです。

今後も、当社グループ一丸となってトータル・エネルギー・ソリューション提案をおこない、企業の省エネ活動推進の支援事業を強化するとともに、本業を通じて地球環境に貢献してまいります。

※1 「MRV方法論」は、CO2削減に関するMeasurement（測定）、Reporting（報告）、Verification（検証）の基準設定のこと。

※2 「Eco Power Fit」を用いた間欠運転のイメージ図



「Eco Power Fit」は、空調室外機の圧縮機を間欠運転する機能に特化した省エネ制御装置。室外機の圧縮機を制御している間、室内機は送風を止めず、複数の空調の停止するタイミングをずらし、快適環境を維持したまま、過冷却を防ぐことで省エネを実現する。

《本件に関するお問合せ先》

ユアサ商事株式会社 総合企画部 TEL：03-6369-1133